



消防署だより

令和4年の火災・救急の
出動状況

火災の発生状況

令和4年に発生した火災の件数は31件で、昨年より12件の増加でした。火災による負傷者は建物火災などによる5人で、死者はありませんでした。出火原因で最も多かったのはたき火(13件)で、続いて、マッチ・ライター、煙突・煙道などが原因となっています。

火を取り扱う場合にはその場を離れず、消火するときは確実に火を消すようにするなど、火の取り扱いに注意しましょう。

火災発生状況(令和4年1月~12月)

火災総件数		31件	
火災種別件数		地域別件数	
建物火災	15件	高梁地域	19件
		有漢地域	5件
林野火災	10件	成羽地域	3件
車両火災	1件	川上地域	3件
その他	5件	備中地域	1件

(速報値)

救急の出場状況

令和4年の救急出場件数は1902件でした。事故種別で見ると、「急病」が1075件と最も多く全体の57%を占めています。その他の396件のうちの多くは、市内から市外の病院への救急搬送でした。

朝夕の冷え込みが厳しい季節には、トイレや浴室へ出入りするときなど、急な温度差で発症するヒートショックに注意をください。

救急出場状況
(令和4年1月~12月)

救急総件数		1902件
事故種別件数		
急病	1075件	
一般負傷	295件	
交通事故	88件	
労働災害ほか	48件	
その他	396件	
※ヘリコプター要請件数	50件	

(速報値)

12月の火災・救急件数

火災 2件(前月から1件増)

救急 204件(前月から34件増)

消防本部予防課 ☎21・0121

林内事故に気を付けましょう

林内作業中の事故は死亡率が非常に高く、安全対策・事故防止の意識・確保がとて大切です。特に1人で林内作業をする人は次のことに注意して作業に当たります。

意識

- 勘に頼らない(「だろろう作業」をしない)
- 過去に体験した「ヒヤリ・ハット」を繰り返さない
- 事故を起こして悲しむ人がいることを強く意識する

確保

- 足場の安全を確保する
 - 周囲を確認し、危険な所には近付かない
 - 荷重方向を正確に把握する
- 参考資料 林野庁『林業の一人親方等の安全対策に関する点検マニュアル』

農林課 ☎21・0223

